

## 毎週火曜掲載

公開  
私の実践ノート

⑤

## 本物の新聞で構成学ぶ

仙台市七北田小教諭 今藤 正彦

5年生の国語「新聞記事を読み比べよう」(東京書籍)

の単元は、メディアである新聞を取り上げ、新聞の特徴や編集の仕方、記事の書き方や写真の役割などを理解し、二つの新聞記事を読み比べて書き手の意図を読み取ることを狙いとしている。単元の導入として、同じ発行日の新聞を児童に1部ずつ配布し、新聞探検の授業を行った。

まず、1日分の新聞を1ページから最後のページまでめくらせ、新聞の大きさ、重さ、ページ数、内容などを実感させた。次に新聞に赤鉛筆で印を付けながら、題字、日付、号数、面の呼び方などを確認し、新聞の構成について理解させた。

そしてソチ冬季五輪開会式を報じた版違いの新聞を提

示。時間を追って写真を差し替えていることに気付かせた。児童は、新聞社が読者に最新の情報を届けようと努力していることに、感心していた。

それから、指定された記事の範囲を赤鉛筆で囲ませ、新聞の読み方に慣れさせた。記事の5W1H、見出し、リード、逆三角形の本文、写真、キャプションなどについて、具体的に理解できたようだ。また、読めない漢字や難しい言葉は、とぼして読んでもよいことを助言した。その後、記事を選ぶポイントを示し、一番気に入った記事を選ばせた。

児童の主な感想は、次の通りである。「教科書にのっている言葉が、新聞のどこにあるかを知ることができた」「新聞の紙面のことや逆三角形のことなど知らなかったことが分かり、教科書の授業が分かりやすくなった」「この授業



教材として、同じ発行日の新聞を1人1部ずつ活用した国語の授業

のおかげで、これから新聞を楽しく読めると思う」

今年、宮城県内の小学校46校で3570人の児童が本物の新聞を使った実践に取り組んだ。新聞各社は安価な教材用価格を設定しているため、ぜひ新聞を教材として活用し

◇

NIIEを実践している教員やNIIEアドバイザーらに、自分だけの方法を公開してもらいます。NIIEがぐっと身近になります。各月第1週に掲載します。次回は10月2日。

こんどう・まさひこさん 宮城県NIIE推進委員会小学校部会運営委員。仙台市七北田小研究主任。2013年から日本新聞協会NIIEアドバイザー。同県加美町出身。大和町在住。